

都市再生整備計画 事後評価シート

岩出山地区

平成27年3月

宮城県 大崎市

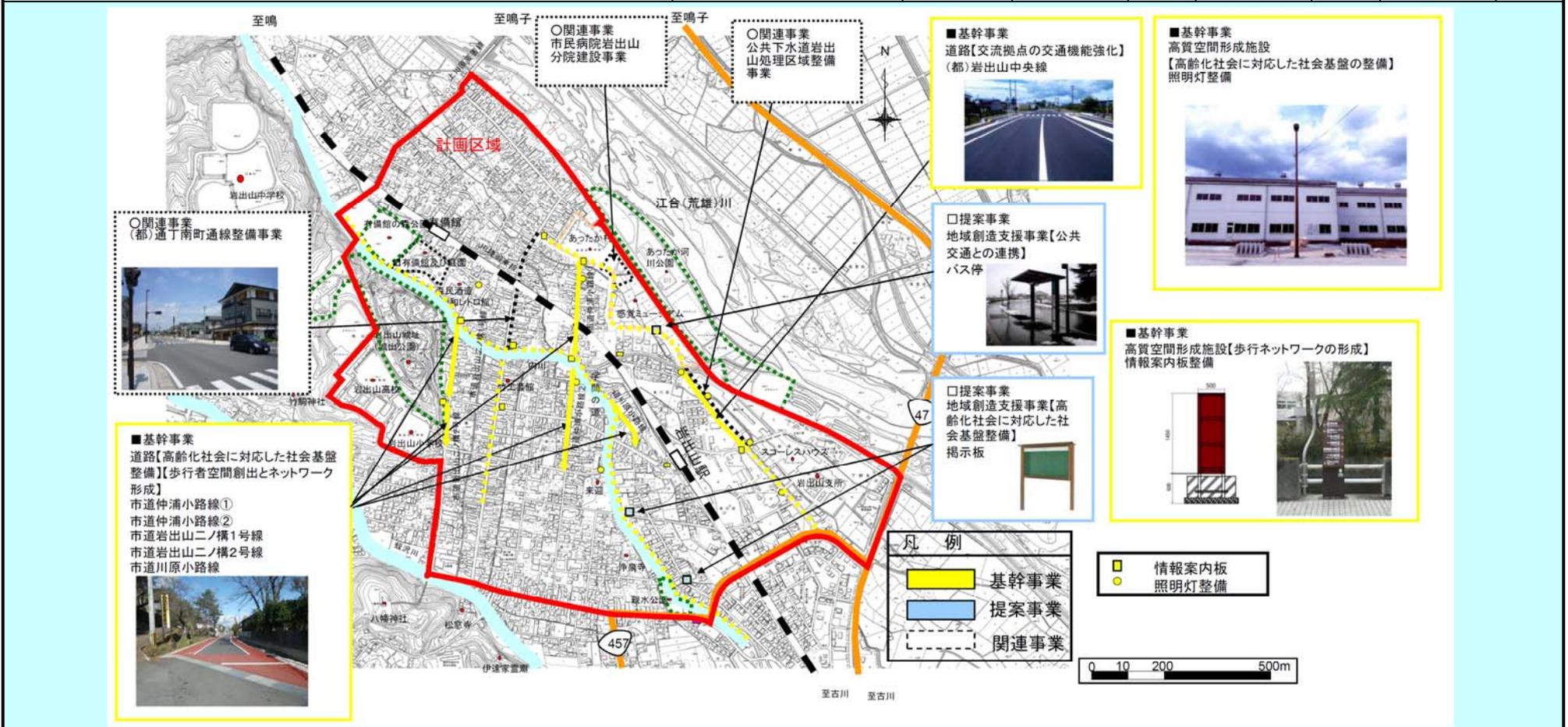
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	大崎市		地区名	岩出山地区		面積	121.6ha		
交付期間	平成23年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	430百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路((都)岩出山中央線街路整備事業・市道仲浦小路線他3路線改良事業)、高質空間形成施設(案内板設置事業・照明灯整備)								
			提案事業	地域創造支援事業(バス停設置事業・掲示板整備)、事業活用調査(まちづくり事後評価検討事業)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	安全安心な歩行空間に対する満足度	%	6.3	H22	12.4	H26	-	11.6	△	あり ●	平成27年度内
	指標2	あつたか村へのアクセス時間	分	7	H22	3	H26	-	3	○	あり なし	なし
	指標3	あつたか村線交通量	人/12h	61	H22	79	H26	-	83	○	あり なし	平成27年度内
指標4									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
4)定性的な効果発現状況	あつたか村線の植栽において、地区のボランティア等による維持管理が展開されており、地域間交流が増加している。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	(都)岩出山中央線や市道仲浦小路線等を整備するにあたり、地元に対して、整備目的や計画図面等を説明し意見交換を行った。整備にあたり地区内居住者の意向を把握するとともに、住民への理解を促すことができた。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民や岩出山総合支所との連携を図りながら、整備後の利用状況について把握し、随時改善の方向性を検討する。	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

岩出山地区(宮城県大崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標として「安心して生活できる社会基盤の形成と地区内の交通環境向上を目指し、利便性が高く魅力あるまちづくり。」とします。 目標1 安全で安心して移動できる歩行空間の形成 目標2 利便性の高い歩行者ネットワークの形成 目標3 福祉・交流拠点へのアクセス機能の強化	安全安心な歩行空間に対する満足度	単位： % 6.3 H22	12.4 H26	11.6 H26
	あつたか村へのアクセス時間	単位： 分 7 H22	3 H26	3 H26
	あつたか村線交通量	単位： 人/12h 61 H22	79 H26	83 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・歩車道が分離された(都)岩出山中央線の整備や、歩行者の安全性確保に向けた市道の舗装整備等により、安全に歩行できる道路空間が整備されている。また、夜間でも安心して歩行できる照明灯の設置や、住民への情報提供を目的とした掲示板の設置により、安心して移動できる歩行空間が形成されている。 ・(都)岩出山中央線の整備や市道の改良整備により、新たな歩行者空間が創出されており、既存の道路も含めて、あつたか村と市街地部を結ぶ歩行者ネットワークが形成されている。また、施設案内板の設置により、観光客等が目的地へ迷わず最短に行けるようになり、利便性の高い歩行者ネットワークとなっている。 ・(都)岩出山中央線の整備やバス停の設置等により、市営バスの路線が変更されて、岩出山総合支所からあつたか村までのアクセス時間が短縮されて、アクセス機能が強化されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の景観に配慮した、道路施設等の適切な維持管理を推進し、快適で安全安心な歩行空間の維持に努める。 ・道路整備が完了したことにより自動車交通量の増加も見込まれるため、環境整備として交通安全対策について検討していく。 ・支所との連携を図りながら住民の意見を把握して、まちづくりにおける住民参加のプロセスを充実させる。